

## とうきょう すくわくプロジェクト 活動報告書

園名	なごみ第二保育園
活動日時	2026年1月27日(火)
クラス名(年齢)	くじら組(5歳児)
年間テーマ	自然の探究活動

### 1. 活動テーマ

<テーマ>

風とあそぼう！

<テーマの設定理由>

自然の一部として触れている風であり、見えない事象に対して子どもたちがどのように興味を持つ、発見があるか。5歳児の年齢で自分の気づきや楽しみを友達と共有、友達に影響されながら探求が進んでいくのではないかと考えたからである。

### 2. 活動スケジュール

- ・人工的な風をつくり、身近なもの(制作素材や玩具)を用いて風を感じる。
- ・少人数のグループで活動を行うことで、一人ひとりが自分の思いや探求活動を行い気持ちや感覚を共有する。

### 3. 環境をデザインする(準備した素材や道具、環境設定)





- ・扇風機 3台
- ・ケース(水や葉っぱなどを入れるもの) ・水 ・葉っぱ ・マーブリング液
- ・カラーセロハン ・おもちゃ(ままごと道具、ブロックなど)

### 4. 探究活動の実践

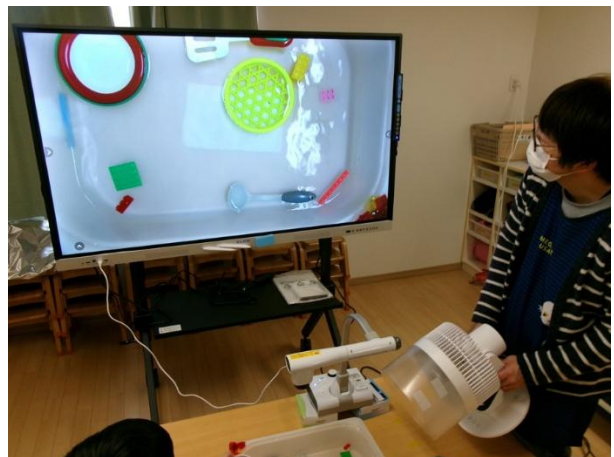
<活動内容>

- ・ケースに様々なものを入れる。
- ・書画カメラで拡大して物を観察する。
- ・風を発生させ、風の流れや受けた物の動きなど発見を言葉にする。
- ・グループごとに発見・気づきを言葉にして共有する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1グループはマーブリング液と風を組み合わせる。一滴一滴色を足しながら風で流れていく光景を見る。「黒が強い」「黄色と緑いなくなった」と風で動いていくうちに色の変化を言語化する。天気予報の台風の動きの図に似ていることも発見する。</li> <li>・「砂と海と山」「オーロラみたい」</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・書画カメラで拡大投影すると、同じ色でもよく見ると濃さが違うことや肉眼では確認しづらい黄色や緑がいることに気付く。</li> <li>・「何で(色が)薄くなるの?」「風が白いからじゃない?」と子ども同士のやりとりと考察も見られる。</li> <li>・水面に色がついたことで自分の顔が映りやすいことにも気づく。黒色が強く「昔みたいになった」「セピア」「レトロ」の発言あり。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2グループは最初に葉っぱを観察する。茶色の葉っぱをカメラ拡大するとやや緑色があることに肉眼と比べて驚く。</li> <li>・ネコジャラシは「白髪みたい」</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・段ボールに葉っぱを入れて風でどう動くか見る。下から風を当てたら竜巻になるのではないかと子どもから提案があり試す。風量と方向もあるのか竜巻にはならないが、葉を細かくしたほうが飛びやすいことや上手いかわないが面白いという感想があった。</li> <li>・書画カメラで自分たちを移すと反転して映ることにすぐ気づく子がいた。</li> </ul>	

- ・3グループは玩具を水面に浮かべて風の動きを見る。このグループは探求していくうちに風よりも水についての興味が深かったの移行した。
- ・カラーセロハンが水面で動く様子を「おいかけっこしている」「黄色の鬼が赤をつかまえた」と自分たち見立てて楽しむ。
- ・ままごとのコップ、皿、おたま、レゴブロックなどを水面に浮かべる。風によって「なんで動くのと動かないのがあるの」という疑問から物の重さや水に物が浮き沈みすることへ興味が移っていく。  
沈むのは「水が(物の)上にあるから」というある子の発言からコップやレゴブロックは浮かぶが、水を入れると沈むことをみんなで見つける。「水は重いんだね」と言語化していた。



##### 5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・今回は自然物、水を主に用いて風の動きを見ていった。  
風によって動くもの・動かないものという重さについての探求にもつながった。  
竜巻のように現実の現象に即しながらどの方向から風を当てたらどんな動きをするのか子どもたちで試していく姿が見られた。
- ・各グループの最後に振り返る時間をつくと「楽しかった」「面白かった」という感想が多い。  
活動中には具体的な表現が出ていたので保育者がメモを取りながら「こういうこともあったよね」と振り返ることで子どもたちが具体的な感想・気づきを言語化していた。